

監理対象団体役員の公募選考結果一覧(本市退職者を役員に採用したもの)

No.	団体	所管	役職	選考委員会の構成				応募 者数	選考過程	最終合格者	
				外部委員	内部 委員等	うち 本市職員・ 退職者	内部委員 等の割合			退職時補職	在職中の年齢上限到達該当
1	大阪シティバス(株)	都市交通局	代表取締役社長	3	1	0	25%	11	一次…書類(3名合格) 二次…面接	大阪市交通局鉄道事業本部運輸部長	—

役員公募選考手続報告書

令和7年5月26日

大阪市都市交通局長 様

大阪シティバス株式会社

当団体の役員について公募選考手続を行った結果、大阪市退職者を採用することとしたので、大阪市の監理対象団体における大阪市退職者の採用等に関する指針を定める規程第3条第7項の規定に基づき、次のとおり報告します。

記

1 役員の役職及び採用することとした者

(1) 役職

代表取締役社長

(2) 採用する大阪市退職者の氏名並びに大阪市退職時の所属及び補職

氏名：中村 和浩

大阪市退職時の所属及び補職：大阪市交通局鉄道事業本部運輸部長

(3) 就任予定日及び任期

令和7年6月定時株主総会から令和8年6月定時株主総会まで

2 役員選考委員会の構成

(1) 外部委員

3名（内訳：弁護士、社外取締役、Osaka Metro 取締役）

(2) 内部委員等

1名（うち、大阪市職員及び大阪市退職者なし）

3 役員選考委員会で決定した選考基準

(1) 選考の実施回数及び各回における書類審査、面接その他の選考方法

一次選考 書類審査

二次選考 面接

(2) 評価項目、配点、合否判定基準及び各回における合格者数

別紙のとおり。

4 役員選考委員会における選考経過

令和7年4月1日～4月7日 選考委員全員による一次選考を実施(11名中3名合格)

4月9日 選考委員全員による二次選考(面接審査)を実施。面接終了後、協議して3名中1名を最終合格者に決定

5 役員選考委員会における選考結果

別紙のとおり。

代表取締役選考基準

○第1次選考（書類審査）

評価基準		配点
(求められる視点)		
① 募集する役職に対する民間企業や大きな組織における管理職経験の有効・期待度。		5点
② 募集要項に掲げる「求める知識・経験」に対する、経験・実績・知識・能力の有効・期待度。		5点
(特に重要な視点)		
① 大阪の交通課題を理解し、当社の掲げるモビリティミックス構想に積極的に主体性を以って取り組むこと。将来にわたり、大阪の移動需要を確保し、事業として成長させていく強い意志、企画力を有していること（外部候補者は当社のモビリティミックス構想の理解度は問わない）		5点
② 安全運行について、強い意志を持ち、何よりも優先すること。また慣習にこだわらず風土改革、意識改革に積極的に取り組むこと （気概があるか。具体的な考えることができるか）		5点
③ 運転士不足解消に積極的に取り組むこと		5点
④ 労務管理に精通し、法令遵守、コンプライアンス遵守に努めること（労務管理の知識はあるか。コンプライアンス遵守の意識は尊いものか）		5点
⑤ お客さまの利用状況に応じ、適正な輸送サービスを提供できるよう、お客さま目線で機動的な再編を企画、実行できること。また、俯瞰的に大局的に判断することができること		5点
⑥ OCBの事業の成長に向けて、新規事業に積極的に取り組む強い意志を持ち合わせていること（外部候補者は事業拡大の経験があることが望ましい）		5点
⑦ 路線バスの事業構造を理解し、経営健全化に向けて積極的に関わり、計画的な収支管理を実行しながら抜本的な改善に取り組むこと（外部候補者は経営を健全化させた経験のあることが望ましい）		5点
⑧ 当社グループ会社としてのOCBの役割を理解できること		5点
合否判定基準	全委員の合計点（50点満点×4名＝200点）の50%を超えた者を第1次選考の合格者とする。	

(評価点)

5点：きわめて高い

2点：比較的低い

4点：比較的高い

1点：きわめて低い

3点：普通（可もなく不可もなく）

※ 評価点間に属すると認められる場合は、その中間点の点数（4.5、3.5、2.5、1.5）とする。

○第2次選考（面接審査）

評価基準		配点
①代表取締役社長としての評価 ・当社の経営全般の見地から経営課題についての認識を深め、経営状況の推移と企業をめぐる環境の変化を的確に把握できるか。 ・当社の健全な経営発展のため、取締役・使用人に対して監査を通じた適切な助言又は勧告等の意見の表明ができるか。		5点
②職務遂行能力に関する評価 ・企業経営、財務会計、交通事業等の分野で高い見識や豊富な経験を有しているか。 ・組織マネジメントの経験、組織のガバナンスを行う能力・経験を有しているか。 ・企業価値向上に関して幅広い知見があるか。		5点
③コンプライアンス、ガバナンス ・様々な重要課題解決のため、経験を活用しながら高いコンプライアンス意識、ガバナンス意識を持って意欲的に取り組むことができるか。		5点
④リスクマネジメント ・危機管理において事故、不祥事の発生防止のために、リスクマネジメントに関する知識、不祥事等の対応経験があるか。		5点
⑤総合人物評価 ・面接姿勢からみた代表取締役社長としての適格性 ・人柄、性格等		5点
合否判定基準	全委員の合計点（25点満点×4名＝100点）の50%を超えた者を第2次選考の合格候補者とし、順位1位を最終合格者とする。	

（評価点）

5点：きわめて高い

2点：比較的低い

4点：比較的高い

1点：きわめて低い

3点：普通（可もなく不可もなく）

※ 評価点間に属すると認められる場合は、その中間点の点数（4.5、3.5、2.5、1.5）とする。

代表取締役選考結果

○第1次選考（書類審査）結果

応募者	選考委員	小計	合計	得点率	順位	合格者
A	甲（外部）	32/50	102.5/200	51%	2	○
	乙（外部）	32/50				
	丙（外部）	20/50				
	丁（内部）	18.5/50				
B	甲（外部）	30/50	79.5/200	40%	9	－
	乙（外部）	14/50				
	丙（外部）	20/50				
	丁（内部）	15.5/50				
C	甲（外部）	31/50	89.5/200	45%	5	－
	乙（外部）	23/50				
	丙（外部）	20/50				
	丁（内部）	15.5/50				
D	甲（外部）	30/50	77/200	39%	11	－
	乙（外部）	13/50				
	丙（外部）	20/50				
	丁（内部）	14/50				
E	甲（外部）	30/50	84/200	42%	6	－
	乙（外部）	16/50				
	丙（外部）	20/50				
	丁（内部）	18/50				
F	甲（外部）	32/50	91/200	46%	3	○
	乙（外部）	20/50				
	丙（外部）	23/50				
	丁（内部）	16/50				
G	甲（外部）	30/50	78/200	39%	10	－
	乙（外部）	14/50				
	丙（外部）	20/50				
	丁（内部）	14/50				
H	甲（外部）	30/50	90.5/200	45%	4	－
	乙（外部）	17/50				
	丙（外部）	22/50				
	丁（内部）	21.5/50				
I	甲（外部）	32/50	82/200	41%	8	－
	乙（外部）	15/50				
	丙（外部）	20/50				
	丁（内部）	15/50				
J	甲（外部）	42/50	141.5/200	71%	1	○
	乙（外部）	40/50				
	丙（外部）	33/50				
	丁（内部）	26.5/50				
K	甲（外部）	30/50	84/200	42%	6	－
	乙（外部）	14/50				
	丙（外部）	20/50				
	丁（内部）	20/50				

全委員の合計点（50点満点×4名＝200点）の50%を超えた者を第1次選考の合格者とする。
 なお、審査の結果、基準には満たなかったものの委員長の採点が高得点だった者を1名合格とする。

○第2次選考（面接）結果

応募者	選考委員	小計	合計	得点率	順位	最終合格者
A	甲（外部）	19/25	62/100	62%	2	－
	乙（外部）	19/25				
	丙（外部）	12/25				
	丁（内部）	12/25				
F	甲（外部）	9/25	49/100	49%	3	－
	乙（外部）	14/25				
	丙（外部）	15/25				
	丁（内部）	11/25				
J	甲（外部）	24/25	78/100	78%	1	○
	乙（外部）	22/25				
	丙（外部）	17/25				
	丁（内部）	15/25				